

設置年度 令和 3年度  
計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

**事前伺い**

福岡教育大学 大学院 教育学研究科 教職実践専攻

**【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書**

国立大学法人福岡教育大学  
令和3年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	教育支援課
職名・氏名	専門員 久保 憲史
電話番号	0940-72-6012・090-35-1411
（夜間）	0940-72-6012・090-35-1411
e-mail	grdsptch@fukuoka-edu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 教育学研究科

### <教職実践専攻>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	11
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	50
7. その他全般的事項	51

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人福岡教育大学

## (2) 大学名

福岡教育大学大学院

## (3) 調査対象大学等の位置

〒811-4192

福岡県宗像市赤間文教町1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	イダ シンジ 飯田 慎司 (令和2年4月1日)		
理事・副学長 (企画・教育研究・附属学校・教育組織・カリキュラム担当)	アイベ ヤシミ 相部 保美 (令和2年4月1日)		
大学院教育学研究科長	カガリ アヤコ 小川 亜弥子 (令和2年4月1日)		
副学長 (教職大学院拡充担当)	モリ ヤスキ 森 保之 (令和2年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)  
令和3年度に報告する内容 → (3)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学研究科 教職実践専攻  教職修士（専門職）	教育学・保育 学関係	2年	50人	年次 - 人	100人		40 (R3.4.1)

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期											
A 入学定員	40 ( - ) [ - ]		50 ( - ) [ - ]		0.92 倍	-1倍							
志願者数	53 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	45 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	38 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	46 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	55 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]			
受験者数	52 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	45 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	38 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	45 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	54 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]			
合格者数	40 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	37 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	38 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	40 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	49 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]			
B 入学者数	39 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	33 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	36 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	39 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	46 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A	0.98		0.83		0.90		0.98		0.92				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、( ( ) )書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	39 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	33 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	36 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	39 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	46 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	
2年次	/		39 [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	33 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	36 [ - ] ( 1 )	[ ] [ ] ( )	40 [ - ] ( 1 )	[ ] [ ] ( )	
3年次			/		/		6 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	5 [ - ] -	[ ] [ ] ( - )	9 [ - ] ( - )
4年次	/						/		/		[ - ] -
計			39 [ - ] ( - )	72 [ - ] ( - )	75 [ - ] ( - )	80 [ - ] ( 1 )					95 [ - ] ( 1 )

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学研究科 教職実践専攻 教育実践力開発コース  教職修士(専門職)	教育学・保育 学関係	2年	38人	年次 -人	76人		25 (R3.4.1)

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期											
A 入学定員	25 (-) [-]		25 (-) [-]		25 (-) [-]		25 (-) [-]		38 (-) [-]		0.92倍	-倍	
志願者数	42 (-) [-]	(-) [-]	34 (-) [-]	(-) [-]	27 (-) [-]	(-) [-]	34 (-) [-]	(-) [-]	44 (-) [-]	(-) [-]			
受験者数	41 (-) [-]	(-) [-]	34 (-) [-]	(-) [-]	27 (-) [-]	(-) [-]	33 (-) [-]	(-) [-]	43 (-) [-]	(-) [-]			
合格者数	29 (-) [-]	(-) [-]	26 (-) [-]	(-) [-]	27 (-) [-]	(-) [-]	28 (-) [-]	(-) [-]	38 (-) [-]	(-) [-]			
B 入学者数	28 (-) [-]	(-) [-]	22 (-) [-]	(-) [-]	25 (-) [-]	(-) [-]	27 (-) [-]	(-) [-]	35 (-) [-]	(-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.12		0.88		1.00		1.08		0.92				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期									
1 年次	28 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	22 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	25 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	27 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	35 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	
2 年次	/		28 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	22 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	25 [ - ] ( 1 )	[ ] [ ] ( )	28 [ - ] ( 1 )	[ ] [ ] ( )	
3 年次	/		/		6 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	5 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	9 [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( )	
4 年次	/		/		/		[ - ] -	[ ] ( )	[ - ] ( - )	[ ] ( )	
計	28 [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( - )	50 [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( - )	53 [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( - )	57 [ - ] ( 1 )	[ ] [ ] ( 1 )	72 [ - ] ( 1 )	[ ] [ ] ( 1 )	

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学研究科 教職実践専攻 スクール・デザイン 開発コース 教職修士（専門職）	教育学・保育 学関係	2年	12人	年次 - 人	24人		15 (R3.4.1)

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期											
A 入学定員	15 ( - ) [ - ]		12 ( - ) [ - ]		0.92 倍	-1倍							
志願者数	11 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	11 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	11 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	12 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	11 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]			
受験者数	11 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	11 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	11 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	12 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	11 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]			
合格者数	11 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	11 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	11 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	12 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	11 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]			
B 入学者数	11 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	11 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	11 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	12 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	11 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A	0.73		0.73		0.73		0.80		0.92				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	11 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	11 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	11 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	12 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	11 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	
2年次	/		11 [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	11 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	11 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	12 [ - ] -	[ ] [ ] ( )	
3年次			/		/		[ - ] -	[ ] ( )	[ - ] -	[ ] ( )	[ - ] ( - )
4年次	/						/		/		[ - ] -
計			11 [ - ] ( - )	22 [ - ] ( - )	22 [ - ] ( - )	23 [ - ] ( - )					23 [ - ] ( - )

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	39人	0人	平成29年度	-人	-人	
平成30年度	72人	0人	平成29年度	-人	-人	
			平成30年度	-人	-人	
令和元年度	75人	1人	平成29年度	-人	-人	
			平成30年度	-人	-人	
			令和元年度	1人	0人	進路志望変更のため
令和2年度	80人	0人	平成29年度	-人	-人	
			平成30年度	-人	-人	
			令和元年度	-人	-人	
			令和2年度	-人	-人	
令和3年度	95人	0人	平成29年度	-人	-人	
			平成30年度	-人	-人	
			令和元年度	-人	-人	
			令和2年度	-人	-人	
			令和3年度	-人	-人	
合計		1人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{39} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{72} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{75} = \boxed{1.33} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{80} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{95} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	28人	0人	平成29年度	-人	-人	
平成30年度	50人	0人	平成29年度	-人	-人	
			平成30年度	-人	-人	
令和元年度	53人	1人	平成29年度	-人	-人	
			平成30年度	-人	-人	
			令和元年度	1人	0人	進路志望変更のため
令和2年度	57人	0人	平成29年度	-人	-人	
			平成30年度	-人	-人	
			令和元年度	-人	-人	
			令和2年度	-人	-人	
令和3年度	72人	0人	平成29年度	-人	-人	
			平成30年度	-人	-人	
			令和元年度	-人	-人	
			令和2年度	-人	-人	
			令和3年度	-人	-人	
合計		1人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{28} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{50} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{53} = \boxed{1.88} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{57} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{72} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	11人	0人	平成29年度	-人	-人	
平成30年度	22人	0人	平成29年度	-人	-人	
			平成30年度	-人	-人	
令和元年度	22人	0人	平成29年度	-人	-人	
			平成30年度	-人	-人	
			令和元年度	-人	-人	
令和2年度	23人	0人	平成29年度	-人	-人	
			平成30年度	-人	-人	
			令和元年度	-人	-人	
			令和2年度	-人	-人	
令和3年度	23人	0人	平成29年度	-人	-人	
			平成30年度	-人	-人	
			令和元年度	-人	-人	
			令和2年度	-人	-人	
			令和3年度	-人	-人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{22} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{22} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{23} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{23} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<教育学研究科教職実践専攻>

### (1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	現代社会における教育の課題 カリキュラム・マネジメントの理論と実践 自立活動の理論と心のバリアフリーの実践	1前	2			7	1	1				兼1
		1後	2			2						
		1後	2			1						
	小計(3科目)	—	6	0	0	9	1	1	0	0	0	兼1
	授業分析・リフレクションの理論と実践 教科教育実践と指導法の改善	1後	2			1						0
		1前		2		6	1	1				
		—	2	0	2	6	1	1	0	0	0	
	小計(2科目)	—	2	0	2	6	1	1	0	0	0	0
	生徒指導の理論と実践 学校カウンセリングの方法 障害のある児童生徒の理解と合理的配慮	1前	2			2						兼6
		1前	2			1						
		1前	2			2						
		—	6	0	0	5	0	0	0	0	0	
	小計(3科目)	—	6	0	0	5	0	0	0	0	0	兼6
	教育改革の動向と学校経営・学級経営の課題 学校における統計基礎	1後	2			2						兼1
		1前		2								
—		2	0	2	2	0	0	0	0	0		
小計(2科目)	—	2	0	2	2	0	0	0	0	0	兼1	
スクールコンプライアンスと教職プロフェッションの開発	1前	2			2						0	
	—	2	0	0	2	0	0	0	0	0		
小計(1科目)	—	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
教育実践力開発コース専門科目	学級経営のPDCAと学習環境デザイン	1前	2			1						兼4
	学級経営の実際と分析	2前	2			1						
	未来をつくる教師の力量	1後	2			7	1	1				
	教師の成長とセルフスタディ	2前	2			1						
	教育連携フィールドワーク	2後	2			1						
	家庭・地域・学校の連携・協働の構築	2後	2			2						
	授業づくりの理論と質的研究の基礎	1前	2			2	1					
	特別活動・総合的な学習の時間の実践と課題	1前	2			1						
	道徳教育の実践と課題	1後	2					1				
	教育の情報化における課題と実践	2前	2			1						
	子供の深い学びを促すディスカッションのあり方と授業づくり	2後	2			2						
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ(国語)	1前	2			2						
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ(算数)	1後	2			2						
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(社会)	2前	2			1	1					
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(算数)	2前	2			2						
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)	2前	2			1						
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(英語)	2前	2			2						
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(体育)	2前	2			2						
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(国語)	2後	2			1						
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(社会)	2後	2			1	1					
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)	2後	2			1						
教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(英語)	2後	2			1							
教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(体育)	2後	2			1							
教育実践の理論と授業づくり(国語科)	1前	2			1							
教育実践の理論と授業づくり(社会科)	1前	2			2	1						
教育実践の理論と授業づくり(数学科)	1前	2			1							

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	現代社会における教育の課題 カリキュラム・マネジメントの理論と実践 自立活動の理論と心のバリアフリーの実践	1前	2			7	2	0				兼1
		1後	2			2						
		1後	2			1						
	小計(3科目)	—	6	0	0	9	2	0	0	0	0	兼1
	授業分析・リフレクションの理論と実践 教科教育実践と指導法の改善	1後	2			1						0
		1前		2		6	3	0				
		—	2	0	2	6	3	0	0	0	0	
	小計(2科目)	—	2	0	2	6	3	0	0	0	0	0
	生徒指導の理論と実践 学校カウンセリングの方法 障害のある児童生徒の理解と合理的配慮	1前	2			2						兼6
		1前	2			1						
		1前	2			2						
		—	6	0	0	5	0	0	0	0	0	
	小計(3科目)	—	6	0	0	5	0	0	0	0	0	兼6
	教育改革の動向と学校経営・学級経営の課題 学校における統計基礎	1後	2			2						兼1
		1前		2								
—		2	0	2	2	0	0	0	0	0		
小計(2科目)	—	2	0	2	2	0	0	0	0	0	兼1	
スクールコンプライアンスと教職プロフェッションの開発	1前	2			2						0	
	—	2	0	0	2	0	0	0	0	0		
小計(1科目)	—	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
教育実践力開発コース専門科目	学級経営のPDCAと学習環境デザイン	1前	2			1						兼3
	学級経営の実際と分析	2前	2			1						
	未来をつくる教師の力量	1後	2			7	2	0				
	教師の成長とセルフスタディ	2前	2			1						
	教育連携フィールドワーク	2後	2			1						
	家庭・地域・学校の連携・協働の構築	2後	2			2						
	授業づくりの理論と質的研究の基礎	1前	2			2	1					
	特別活動・総合的な学習の時間の実践と課題	1前	2			1						
	道徳教育の実践と課題	1後	2					1	0			
	教育の情報化における課題と実践	2前	2			1						
	子供の深い学びを促すディスカッションのあり方と授業づくり	2後	2			2						
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ(国語)	1前	2			2						
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ(算数)	1後	2			1						
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(社会)	2前	2			1	1					
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(算数)	2前	2			2						
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)	2前	2			1						
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(英語)	2前	2			2						
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(体育)	2前	2			2						
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(国語)	2後	2			1						
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(社会)	2後	2			1	1					
	教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)	2後	2			1						
教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(英語)	2後	2			1							
教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(体育)	2後	2			1							
教育実践の理論と授業づくり(国語科)	1前	2			1							
教育実践の理論と授業づくり(社会科)	1前	2			2	1						
教育実践の理論と授業づくり(数学科)	1前	2			1							





発 リ コ ー ダ ー シ ッ ク	課題演習Ⅱ-3	2前	1		19	1															
	課題演習Ⅱ-4	2後	1		19	1															
	小計(4科目)		0	4	0	19	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
教育 実 践 力 開 発 コ ー ス	TA実践インターンシップⅠ【※】	1前	2		10	1	1														
	TA実践インターンシップⅡ【※】	1後	2		10	1	1														
	TA実践インターンシップⅢ【※】	2前	2		10	1	1														
	TA実践インターンシップⅣ【※】	2後	2		10	1	1														
	教育実践コラボレーション実習【※】	2前	2		10	1	1														
	小計(5科目)		0	10	0	10	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
学 校 に お け る 実 習 科 目	異校種実習【※】	1前	2		7																
	教科指導基礎実習【※】	1後	3		7																
	教科指導向上実習Ⅰ【※】	2前	3		7																
	教科指導向上実習Ⅱ【※】	2後	2		7																
	授業研究実習【※】	1前	2		10																
	特別支援教育実践実習【※】	1前	2		6																
	学校カウンセリング実習A【※】	1後	3		3																
	学校カウンセリング実習B【※】	1後	3		3																
	学校適応アセスメント実習【※】	2前	3		3																
	学校適応支援システム化実習【※】	2後	2		3																
	特別支援教育アセスメント実習【※】	2前	3		3																
	特別支援教育システム化実習【※】	2後	2		3																
	教育連携コラボレーション実習【※】	1前	2		4																
	学校組織マネジメント実習Ⅰ【※】	1後	2		4																
	学校組織マネジメント実習Ⅱ【※】	2前	2		4																
	学校組織マネジメント実習Ⅲ【※】	2後	2		4																
小計(16科目)	—	0	38	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計(157科目)	—	18	290	4	24	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼64	
卒業要件及び履修方法																					

発 リ コ ー ダ ー シ ッ ク	課題演習Ⅱ-3	2前	1		19	2															
	課題演習Ⅱ-4	2後	1		19	2															
	小計(4科目)		0	4	0	19	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
教育 実 践 力 開 発 コ ー ス	TA実践インターンシップⅠ【※】	1前	2		10	3	0														
	TA実践インターンシップⅡ【※】	1後	2		10	3	0														
	TA実践インターンシップⅢ【※】	2前	2		10	3	0														
	TA実践インターンシップⅣ【※】	2後	2		10	3	0														
	教育実践コラボレーション実習【※】	2前	2		10	3	0														
	小計(5科目)		0	10	0	10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
学 校 に お け る 実 習 科 目	異校種実習【※】	1前	2		7	1															
	教科指導基礎実習【※】	1後	3		7	1															
	教科指導向上実習Ⅰ【※】	2前	3		7	1															
	教科指導向上実習Ⅱ【※】	2後	2		7	1															
	授業研究実習【※】	1前	2		13																
	特別支援教育実践実習【※】	1前	2		6																
	学校カウンセリング実習A【※】	1後	3		3																
	学校カウンセリング実習B【※】	1後	3		3																
	学校適応アセスメント実習【※】	2前	3		3																
	学校適応支援システム化実習【※】	2後	2		3																
	特別支援教育アセスメント実習【※】	2前	3		3																
	特別支援教育システム化実習【※】	2後	2		3																
	教育連携コラボレーション実習【※】	1前	2		4																
	学校組織マネジメント実習Ⅰ【※】	1後	2		4																
	学校組織マネジメント実習Ⅱ【※】	2前	2		4																
	学校組織マネジメント実習Ⅲ【※】	2後	2		4																
小計(16科目)	—	0	38	0	15	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計(157科目)	—	18	290	4	23	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼65	
卒業要件及び履修方法																					

<p>【履修基準】 共通科目18単位、コース別科目14単位、課題演習科目4単位、実習科目10単位</p> <p>教育実践力開発コース： 共通科目18単位(必修18) コース別科目14単位(必修10,選択必修2,選択2) 課題演習科目4単位(必修4) 実習科目10単位(必修10)</p> <p>スクールリーダーシップ開発コース： 【教科教育リーダープログラム】 共通科目18単位(必修18) コース別科目14単位(必修12,選択2) 課題演習科目4単位(必修4) 実習科目10単位(必修10) 【学校適応支援リーダープログラム】 共通科目18単位(必修18) コース別科目14単位(必修10,選択必修2,選択2) 課題演習科目4単位(必修4) 実習科目10単位(必修10) 【特別支援教育推進コーディネータープログラム】 共通科目18単位(必修18) コース別科目14単位(必修10,選択必修2,選択2) 課題演習科目4単位(必修4) 実習科目10単位(必修10) 【学校運営リーダープログラム】 共通科目18単位(必修18) コース別科目14単位(必修14) 課題演習科目4単位(必修4) 実習科目10単位(必修10)</p> <p>【初等教育高度実践力特別プログラム】 1年次に学部にて小学校教員免許状取得に必要な単位を取得し、2年次以降は学部での教育実習関係の単位取得、介護等体験の実施(該当者のみ)、大学院の授業については、「初等教育高度実践力プログラム」の科目又は「教職教育高度実践力プログラム」の科目を選択履修する。</p> <p>【教育実践力開発コース専門科目の選択必修科目】 ・初等教育高度実践力プログラム及び中等教育高度実践力プログラムは、「特別活動・総合的な学習の時間の実践と課題」、「道徳教育の実践と課題」から、2単位を選択必修とする。 ・教職教育高度実践力プログラムは、「教師の成長とセルフスタディ」、「教育連携フィールドワーク」、「家庭・地域・学校の連携・協働の構築」、「教育の情報化における課題と実践」から、2単位を選択必修とする。</p> <p>※中等教育高度実践力プログラムにおいて、(中学校)もしくは(高等学校)を選択した際に、中学校は、授業実践と評価の研究Ⅱ(国語科)(社会科)(数学科)(理科)(英語科)(保健体育科)から、2単位を選択必修とする。高等学校は、授業実践と評価の研究Ⅰa(国語科)(社会科)(数学科)(理科)(英語科)(保健体育科)から、2単位を選択必修とする。</p> <p>【スクールリーダーシップ開発コース専門科目の選択必修科目】 学校適応支援リーダープログラム及び特別支援教育推進コーディネータープログラムは、「OJTとチームマネジメント」、「チーム学校と学校組織マネジメント」から、2単位を選択必修とする。</p>	<p>【履修基準】 共通科目18単位、コース別科目14単位、課題演習科目4単位、実習科目10単位</p> <p>教育実践力開発コース： 共通科目18単位(必修18) コース別科目14単位(必修10,選択必修2,選択2) 課題演習科目4単位(必修4) 実習科目10単位(必修10)</p> <p>スクールリーダーシップ開発コース： 【教科教育リーダープログラム】 共通科目18単位(必修18) コース別科目14単位(必修12,選択2) 課題演習科目4単位(必修4) 実習科目10単位(必修10) 【学校適応支援リーダープログラム】 共通科目18単位(必修18) コース別科目14単位(必修10,選択必修2,選択2) 課題演習科目4単位(必修4) 実習科目10単位(必修10) 【特別支援教育推進コーディネータープログラム】 共通科目18単位(必修18) コース別科目14単位(必修10,選択必修2,選択2) 課題演習科目4単位(必修4) 実習科目10単位(必修10) 【学校運営リーダープログラム】 共通科目18単位(必修18) コース別科目14単位(必修14) 課題演習科目4単位(必修4) 実習科目10単位(必修10)</p> <p>【初等教育高度実践力特別プログラム】 1年次に学部にて小学校教員免許状取得に必要な単位を取得し、2年次以降は学部での教育実習関係の単位取得、介護等体験の実施(該当者のみ)、大学院の授業については、「初等教育高度実践力プログラム」の科目又は「教職教育高度実践力プログラム」の科目を選択履修する。</p> <p>【教育実践力開発コース専門科目の選択必修科目】 ・初等教育高度実践力プログラム及び中等教育高度実践力プログラムは、「特別活動・総合的な学習の時間の実践と課題」、「道徳教育の実践と課題」から、2単位を選択必修とする。 ・教職教育高度実践力プログラムは、「教師の成長とセルフスタディ」、「教育連携フィールドワーク」、「家庭・地域・学校の連携・協働の構築」、「教育の情報化における課題と実践」から、2単位を選択必修とする。</p> <p>※中等教育高度実践力プログラムにおいて、(中学校)もしくは(高等学校)を選択した際に、中学校は、授業実践と評価の研究Ⅱ(国語科)(社会科)(数学科)(理科)(英語科)(保健体育科)から、2単位を選択必修とする。高等学校は、授業実践と評価の研究Ⅰa(国語科)(社会科)(数学科)(理科)(英語科)(保健体育科)から、2単位を選択必修とする。</p> <p>【スクールリーダーシップ開発コース専門科目の選択必修科目】 学校適応支援リーダープログラム及び特別支援教育推進コーディネータープログラムは、「OJTとチームマネジメント」、「チーム学校と学校組織マネジメント」から、2単位を選択必修とする。</p>
--	--

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために**未開講となった科目についても科目名の後**に「(未開講)」として記入してください。
  - ・ **1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。**
  - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の昇任により、「現代社会における教育の課題」の専任教員等の配置を「教授7、准教授1、講師1」から「教授7、准教授2」に変更。</li> <li>・教員の昇任及び新規採用により、「教科教育実践と指導法の改善」の専任教員等の配置を「教授6、准教授1、講師1」から「教授6、准教授3」に変更。</li> <li>・教員の昇任により、「未来をつくる教師の力量」の専任教員等の配置を「教授7、准教授1、講師1」から「教授7、准教授2」に変更。</li> <li>・教員の昇任により、「道徳教育の実践と課題」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。</li> <li>・教員の退職により、「教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ（国語）」の兼任・兼担の配置を「兼4」から「兼3」に変更。</li> <li>・担当科目の見直しにより、「教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ（算数）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。</li> <li>・教員の採用及び担当科目の見直しにより、「授業実践と評価の研究Ⅰb（数学科）」の専任教員等の配置及び兼任・兼担を「教授2」から「准教授1、兼担1」に変更。</li> <li>・教員の採用及び担当科目の見直しにより、「授業実践と評価の研究Ⅱ（数学科）」の専任教員等の配置及び兼任・兼担を「兼6」から「准教授1、兼5」に変更。</li> <li>・教員の退職により、「授業実践と評価の研究Ⅲ（国語科）」の兼任・兼担の配置を「兼3」から「兼2」に変更。</li> <li>・教員の採用により、「授業実践と評価の研究Ⅲ（数学科）」の専任教員等の配置を「教授1兼5」から「准教授1兼5」に変更。</li> <li>・担当科目の見直しにより、「教科教育における授業実践の研究」の専任教員等の配置及び兼任・兼担を「教授10、准教授1、講師1、兼4」から「教授13、准教授3、兼7」に変更。</li> <li>・教員の採用により、「教科教育の理論と実践Ⅰ（数学科）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1、准教授1」に変更。</li> <li>・教員の採用により、「教科教育の理論と実践Ⅱ（数学科）」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。</li> <li>・担当科目の見直しにより、「特別支援教育における資源の活用と連携」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。</li> <li>・担当科目の見直しにより、「学級における特別支援教育のケース研究」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当科目の見直し及び教員の昇任、採用により、「課題演習Ⅰ-1」の専任教員等の配置を「教授20、准教授1、講師1」から「教授22、准教授3」に変更。</li> <li>・担当科目の見直し及び教員の昇任、採用により、「課題演習Ⅰ-2」の専任教員等の配置を「教授20、准教授1、講師1」から「教授22、准教授3」に変更。</li> <li>・担当科目の見直し及び教員の昇任、採用により、「課題演習Ⅰ-3」の専任教員等の配置を「教授20、准教授1、講師1」から「教授22、准教授3」に変更。</li> <li>・担当科目の見直し及び教員の昇任、採用により、「課題演習Ⅰ-4」の専任教員等の配置を「教授20、准教授1、講師1」から「教授22、准教授3」に変更。</li> <li>・教員の採用により、「課題演習Ⅱ-1」の専任教員等の配置を「教授19、准教授1」から「教授19、准教授2」に変更。</li> <li>・教員の採用により、「課題演習Ⅱ-2」の専任教員等の配置を「教授19、准教授1」から「教授19、准教授2」に変更。</li> <li>・教員の採用により、「課題演習Ⅱ-3」の専任教員等の配置を「教授19、准教授1」から「教授19、准教授2」に変更。</li> <li>・教員の採用により、「課題演習Ⅱ-4」の専任教員等の配置を「教授19、准教授1」から「教授19、准教授2」に変更。</li> <li>・教員の昇任、採用により、「TA実践インターンシップⅠ」の専任教員等の配置を「教授10、准教授1、講師1」から「教授10、准教授3」に変更。</li> <li>・教員の昇任、採用により、「TA実践インターンシップⅡ」の専任教員等の配置を「教授10、准教授1、講師1」から「教授10、准教授3」に変更。</li> <li>・教員の昇任、採用により、「TA実践インターンシップⅢ」の専任教員等の配置を「教授10、准教授1、講師1」から「教授10、准教授3」に変更。</li> <li>・教員の昇任、採用により、「TA実践インターンシップⅣ」の専任教員等の配置を「教授10、准教授1、講師1」から「教授10、准教授3」に変更。</li> <li>・教員の昇任、採用により、「教育実践コラボレーション実習」の専任教員等の配置を「教授10、准教授1、講師1」から「教授10、准教授3」に変更。</li> <li>・教員の採用により、「異校種実習」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授7、准教授1」に変更。</li> <li>・教員の採用により、「教科指導基礎実習」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授7、准教授1」に変更。</li> <li>・教員の採用により、「教科指導向上実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授7、准教授1」に変更。</li> <li>・教員の採用により、「教科指導向上実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授7、准教授1」に変更。</li> <li>・担当科目の見直しにより、「授業研究実習」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授13」に変更。</li> </ul>
---

- (注) 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
9 科目	146 科目	2 科目	157 科目	9 科目 [ 0 ]	146 科目 [ 0 ]	2 科目 [ 0 ]	157 科目 [ 0 ]	

- (注) 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当無し					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当無し					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{157} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	183,860 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	183,860 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	92,053 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	92,053 m <sup>2</sup>				
	小 計	275,913 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	275,913 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	8,073 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	8,073 m <sup>2</sup>				
	合 計	283,986 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	283,986 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		48,539 m <sup>2</sup> ( 48,539 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	44 室	63 室	60 室	7 室 (補助職員 0 人)	6 室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	教育学研究科 教職実践専攻			26 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位で特定不能な ため、大学全体の数  傷みがひどいものを 一部廃棄したため	
		冊	種	種					
	教職実践専攻	<del>530,421 [112,999]</del>	<del>8,161 [2,061]</del>	<del>6,190 [6,190]</del>	1,876	493	0		
		529,827 [113,056]	8,158 [2,060]	6,027 [6,027]	(1,878)	(493)	( 0 )		
		<del>530,421 [112,999]</del>	<del>8,161 [2,061]</del>	<del>6,190 [6,190]</del>					
計	<del>529,827 [113,056]</del>	<del>8,158 [2,060]</del>	<del>6,027 [6,027]</del>	1,876	493	0			
	529,827 [113,056]	8,158 [2,060]	6,027 [6,027]	(1,876)	(493)	( 0 )			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			大学全体		
	4516 m <sup>2</sup>		367	530,000					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	2,274 m <sup>2</sup>		野球場 1面		テニスコート 5面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金） による
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号（その 1 の 1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和 3 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	福岡教育大学						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
教育学部	4	615	-	2460						福岡県宗像市赤間文教町1番1号	
初等教育教員養成課程	4	385	-	1540	学士(教育学)	1.02	1.03	-	平成11	同上	
中等教育教員養成課程	4	170	-	680	学士(教育学)	1.02	1.04	-	平成11	同上	
特別支援教育教員養成課程	4	60	-	240	学士(教育学)	1.02	0.99	-	平成20	同上	
共生社会教育課程	4	-	-	-	学士(現代社会教育学)・学士(国際社会教育)	-	-	-	平成25	同上	平成28年度より学生募集停止
環境教育課程	4	-	-	-	学士(環境教育学)	-	-	-	平成25	同上	平成28年度より学生募集停止
芸術課程	4	-	-	-	学士(音楽)・学士(芸術)	-	-	-	平成25	同上	平成28年度より学生募集停止
教育学研究科	2	50	-	100							
教育科学専攻	2	-	-	-	修士(教育学)	-	-	-	平成21	同上	令和3年度より学生募集停止
教職実践専攻	2	50	-	100	教職修士(専門職)	0.92	0.92	-	平成21	同上	R3:40人→50人
大学全体	-	665	-	2560	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください  
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学研究科教職実践専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	青山 之典 (55) <令和3年度4月> 博士(教育学)	専	教授	青山 之典 (55) <令和3年度4月> 博士(教育学)
		現代社会における教育の課題※ 教科教育実践と指導法の改善 教育改革の動向と学校経営・学級経営の課題 未来をつくる教師の力量※ 授業づくりの理論と質的研究の基礎 子供の深い学びを促すディスカッションのあり方と授業づくり※ 教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(国語)※ 教育実践の理論と授業づくり(国語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(国語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(国語科)※ 教科教育における授業実践の研究 教科内容研究と教材開発Ⅲ(国語科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(国語科)※ 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習			現代社会における教育の課題※ 教科教育実践と指導法の改善 教育改革の動向と学校経営・学級経営の課題 未来をつくる教師の力量※ 授業づくりの理論と質的研究の基礎 子供の深い学びを促すディスカッションのあり方と授業づくり※ 教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(国語)※ 教育実践の理論と授業づくり(国語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(国語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(国語科)※ 教科教育における授業実践の研究 教科内容研究と教材開発Ⅲ(国語科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(国語科)※ 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習
専	教授	大竹 晋吾 (47) <令和3年度4月> 博士(教育学)	専	教授	大竹 晋吾 (47) <令和3年度4月> 博士(教育学)
		カリキュラム・マネジメントの理論と実践 チーム学校と学校組織マネジメント※ 学校の危機管理と教育法規 学校組織開発とデータ分析 教職員の人材育成マネジメント 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 異校種実習 教科指導基礎実習 教科指導向上実習Ⅰ 教科指導向上実習Ⅱ 授業研究実習 教育連携コラボレーション実習 学校組織マネジメント実習Ⅰ 学校組織マネジメント実習Ⅱ 学校組織マネジメント実習Ⅲ			カリキュラム・マネジメントの理論と実践 チーム学校と学校組織マネジメント※ 学校の危機管理と教育法規 学校組織開発とデータ分析 教職員の人材育成マネジメント 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 異校種実習 教科指導基礎実習 教科指導向上実習Ⅰ 教科指導向上実習Ⅱ 授業研究実習 教育連携コラボレーション実習 学校組織マネジメント実習Ⅰ 学校組織マネジメント実習Ⅱ 学校組織マネジメント実習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	小泉 令三 (65)(高) ＜令和3年度4月＞ 博士(心理学)	専	教授	小泉 令三 (65) ＜令和3年度4月＞ 博士(心理学)
		生徒指導の理論と実践 予防・開発的教育相談 学習指導支援の理論と実践 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4 課題演習 II-1 課題演習 II-2 課題演習 II-3 課題演習 II-4 授業研究実習 特別支援教育実践実習 学校カウンセリング実習A 学校適応アセスメント実習 学校適応支援システム化実習			生徒指導の理論と実践 予防・開発的教育相談 学習指導支援の理論と実践 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4 課題演習 II-1 課題演習 II-2 課題演習 II-3 課題演習 II-4 授業研究実習 特別支援教育実践実習 学校カウンセリング実習A 学校適応アセスメント実習 学校適応支援システム化実習
		中山 健 (54) ＜令和3年度4月＞ 教育学修士, 修士(心身障害学)			中山 健 (54) ＜令和3年度4月＞ 教育学修士, 修士(心身障害学)
専	教授	中山 健 (54) ＜令和3年度4月＞ 教育学修士, 修士(心身障害学)	専	教授	中山 健 (54) ＜令和3年度4月＞ 教育学修士, 修士(心身障害学)
		発達援助の理論と実践 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4 課題演習 II-1 課題演習 II-2 課題演習 II-3 課題演習 II-4 授業研究実習 特別支援教育実践実習 学校カウンセリング実習B 特別支援教育アセスメント実習 特別支援教育システム化実習			発達援助の理論と実践 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4 課題演習 II-1 課題演習 II-2 課題演習 II-3 課題演習 II-4 授業研究実習 特別支援教育実践実習 学校カウンセリング実習B 特別支援教育アセスメント実習 特別支援教育システム化実習
		西野 秀昭 (61) ＜令和3年度4月＞ 理学博士			西野 秀昭 (61) ＜令和3年度4月＞ 理学博士
専	教授	西野 秀昭 (61) ＜令和3年度4月＞ 理学博士	専	教授	西野 秀昭 (61) ＜令和3年度4月＞ 理学博士
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※ 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4 課題演習 II-1 課題演習 II-2 課題演習 II-3 課題演習 II-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習 異校種実習 教科指導基礎実習 教科指導向上実習Ⅰ 教科指導向上実習Ⅱ			教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ <b>教科教育における授業実践の研究</b> 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※ 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4 課題演習 II-1 課題演習 II-2 課題演習 II-3 課題演習 II-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習 異校種実習 教科指導基礎実習 教科指導向上実習Ⅰ 教科指導向上実習Ⅱ
		西野 秀昭 (61) ＜令和3年度4月＞ 理学博士			西野 秀昭 (61) ＜令和3年度4月＞ 理学博士

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	西山 久子 (55) <令和3年度4月> 博士(学校教育学)	専	教授	西山 久子 (56) <令和3年度4月> 博士(学校教育学)
		学校カウンセリングの方法 教育的ニーズの把握と評価 心理教育的援助サービスシステム化の理論と実践A 心理教育的援助サービスシステム化の理論と実践B チーム学校と学校組織マネジメント※ 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4 課題演習 II-1 課題演習 II-2 課題演習 II-3 課題演習 II-4 授業研究実習 特別支援教育実践実習 学校カウンセリング実習A 学校適応アセスメント実習 学校適応支援システム化実習			学校カウンセリングの方法 教育的ニーズの把握と評価 心理教育的援助サービスシステム化の理論と実践A 心理教育的援助サービスシステム化の理論と実践B チーム学校と学校組織マネジメント※ 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4 課題演習 II-1 課題演習 II-2 課題演習 II-3 課題演習 II-4 授業研究実習 特別支援教育実践実習 学校カウンセリング実習A 学校適応アセスメント実習 学校適応支援システム化実習
専	教授	納富 恵子 (63)(高) <令和3年度4月> 医学士	専	教授	納富 恵子 (63) <令和3年度4月> 医学士
		障害のある児童生徒の理解と合理的配慮※ 障害の理論と実践※ 特別支援教育における資源の活用と連携 学級における特別支援教育のケース研究 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4 課題演習 II-1 課題演習 II-2 課題演習 II-3 課題演習 II-4 授業研究実習 特別支援教育実践実習 学校カウンセリング実習B 特別支援教育アセスメント実習 特別支援教育システム化実習			障害のある児童生徒の理解と合理的配慮※ 障害の理論と実践※ 特別支援教育における資源の活用と連携 学級における特別支援教育のケース研究 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4 課題演習 II-1 課題演習 II-2 課題演習 II-3 課題演習 II-4 授業研究実習 特別支援教育実践実習 学校カウンセリング実習B 特別支援教育アセスメント実習 特別支援教育システム化実習
専	教授	村田 育也 (61) <令和3年度4月> 博士(学術)	専	教授	村田 育也 (61) <令和3年度4月> 博士(学術)
		現代社会における教育の課題※ 教科教育実践と指導法の改善 未来をつくる教師の力量※ 教育の情報化における課題と実践 子供の深い学びを促すディスカッションのあり方と授業づくり※ 教科教育における授業実践の研究 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4 TA実践インターンシップ I TA実践インターンシップ II TA実践インターンシップ III TA実践インターンシップ IV 教育実践コラボレーション実習			現代社会における教育の課題※ 教科教育実践と指導法の改善 未来をつくる教師の力量※ 教育の情報化における課題と実践 子供の深い学びを促すディスカッションのあり方と授業づくり※ 教科教育における授業実践の研究 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4 TA実践インターンシップ I TA実践インターンシップ II TA実践インターンシップ III TA実践インターンシップ IV 教育実践コラボレーション実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	森 千鶴 (64)(高) ＜令和3年度4月＞ 博士(教育学)	専	教授	森 千鶴 (64) ＜令和3年度4月＞ 博士(教育学)
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(英語) 教育実践の理論と授業づくり(英語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰa(英語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(英語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(英語科)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(英語科)※			教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(英語) 教育実践の理論と授業づくり(英語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰa(英語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(英語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(英語科)※ <b>教科教育における授業実践の研究</b> 教科教育の理論と実践Ⅰ(英語科)※ 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4
専	教授	若木 常佳 (59) ＜令和3年度4月＞ 博士(教育学)	専	教授	若木 常佳 (59) ＜令和3年度4月＞ 博士(教育学)
		現代社会における教育の課題※ 授業分析・リフレクションの理論と実践 教科教育実践と指導法の改善 未来をつくる教師の力量※ 教師の成長とセルフスタディ 教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ(国語)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(国語科) 授業実践と評価の研究Ⅳ(国語科)※ 教科教育における授業実践の研究 教科内容研究と教材開発Ⅰ(国語科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(国語科)※ 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習			現代社会における教育の課題※ 授業分析・リフレクションの理論と実践 教科教育実践と指導法の改善 未来をつくる教師の力量※ 教師の成長とセルフスタディ 教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ(国語)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(国語科) 授業実践と評価の研究Ⅳ(国語科)※ 教科教育における授業実践の研究 教科内容研究と教材開発Ⅰ(国語科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(国語科)※ 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	坂井 清隆 (52) ＜令和3年度4月＞ 博士(人間科学)	専	准教授	坂井 清隆 (52) ＜令和3年度4月＞ 博士(人間科学)
		現代社会における教育の課題※ 教科教育実践と指導法の改善 未来をつくる教師の力量※ 授業づくりの理論と質的研究の基礎 教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(社会)※ 教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(社会)※ 教育実践の理論と授業づくり(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰa(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(社会科)※ 教科教育における授業実践の研究 教科教育の理論と実践Ⅰ(社会科)※ 教科教育の理論と実践Ⅱ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(社会科)※ 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習			現代社会における教育の課題※ 教科教育実践と指導法の改善 未来をつくる教師の力量※ 授業づくりの理論と質的研究の基礎 教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(社会)※ 教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(社会)※ 教育実践の理論と授業づくり(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰa(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(社会科)※ 教科教育における授業実践の研究 教科教育の理論と実践Ⅰ(社会科)※ 教科教育の理論と実践Ⅱ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(社会科)※ 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習
専	講師	兼安 章子 (36) ＜令和3年度4月＞ 博士(教育学)	専	准教授	兼安 章子 (37) ＜令和3年度4月＞ 博士(教育学)
		現代社会における教育の課題※ 教科教育実践と指導法の改善 未来をつくる教師の力量※ 道德教育の実践と課題 教科教育における授業実践の研究 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習			現代社会における教育の課題※ 教科教育実践と指導法の改善 未来をつくる教師の力量※ 道德教育の実践と課題 教科教育における授業実践の研究 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名		
					<p>有元 康一 (48) &lt;令和3年度4月&gt; 博士(学校教育学)</p> <p>教科教育実践と指導法の改善 授業実践と評価の研究 I b(数学科) 授業実践と評価の研究 II(数学科) 授業実践と評価の研究 III(数学科) 教科教育における授業実践の研究 教科教育の理論と実践 I(数学科) 教科教育の理論と実践 II(数学科) 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4 課題演習 II-1 課題演習 II-2 課題演習 II-3 課題演習 II-4 TA実践インターンシップ I TA実践インターンシップ II TA実践インターンシップ III TA実践インターンシップ IV 教育実践コラボレーション実習 異校種実習 教科指導基礎実習 教科指導向上実習 I 教科指導向上実習 II</p>
専他	教授	小田 泰司 (47) <令和3年度4月> 博士(教育学)	専他	教授	小田 泰司 (47) <令和3年度4月> 博士(教育学)
		<p>教育実践の理論と授業づくり (社会科) ※ 授業実践と評価の研究 I b(社会科) ※ 授業実践と評価の研究 IV(社会科) ※ 教科教育の理論と実践 I(社会科) ※ 教科教育の理論と実践 II(社会科) ※ 教科内容研究と教材開発 IV(社会科)</p>			<p>教育実践の理論と授業づくり (社会科) ※ 授業実践と評価の研究 I b(社会科) ※ 授業実践と評価の研究 IV(社会科) ※ 教科教育における授業実践の研究 教科教育の理論と実践 I(社会科) ※ 教科教育の理論と実践 II(社会科) ※ 教科内容研究と教材開発 IV(社会科)</p>
専他	教授	清水 紀宏 (52) <令和3年度4月> 博士(教育学)	専担	教授	清水 紀宏 (52) <令和3年度4月> 博士(教育学)
		<p>授業実践と評価の研究 I b(数学科) 授業実践と評価の研究 III(数学科) ※ 教科教育の理論と実践 I(数学科) 教科内容研究と教材開発 II(数学科) ※</p>			<p>授業実践と評価の研究 I b(数学科) 授業実践と評価の研究 III(数学科) ※ 教科教育の理論と実践 I(数学科) 教科教育の理論と実践 II(数学科) 教科内容研究と教材開発 II(数学科) ※</p>
専他	教授	本多 壮太郎 (48) <令和3年度4月> 博士(体育学), PhD (Education and Social Sciences)	専他	教授	本多 壮太郎 (48) <令和3年度4月> 博士(体育学), PhD (Education and Social Sciences)
		<p>教育実践の理論と授業づくり (保健体育科) 授業実践と評価の研究 I b(保健体育科) 教科教育の理論と実践 I(保健体育科) 教科教育の理論と実践 II(保健体育科) 教科内容研究と教材開発 IV(保健体育科)</p>			<p>教育実践の理論と授業づくり (保健体育科) 授業実践と評価の研究 I b(保健体育科) 教科教育の理論と実践 I(保健体育科) 教科教育の理論と実践 II(保健体育科) 教科内容研究と教材開発 IV(保健体育科) 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4</p>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
実専	教授	田淵 聡 (58) ＜令和3年度4月＞ 教育学士	実専	教授	田淵 聡 (58) ＜令和3年度4月＞ 教育学士
		教科教育実践と指導法の改善 教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ(国語)※ カリキュラムマネジメントのPDCA チーム学校と学校組織マネジメント※ 学校評価と学校改善 OJTとチームマネジメント 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 異校種実習 教科指導基礎実習 教科指導向上実習Ⅰ 教科指導向上実習Ⅱ 授業研究実習 教育連携コラボレーション実習 学校組織マネジメント実習Ⅰ 学校組織マネジメント実習Ⅱ 学校組織マネジメント実習Ⅲ			教科教育実践と指導法の改善 教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ(国語)※ カリキュラムマネジメントのPDCA チーム学校と学校組織マネジメント※ 学校評価と学校改善 OJTとチームマネジメント 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 異校種実習 教科指導基礎実習 教科指導向上実習Ⅰ 教科指導向上実習Ⅱ 授業研究実習 教育連携コラボレーション実習 学校組織マネジメント実習Ⅰ 学校組織マネジメント実習Ⅱ 学校組織マネジメント実習Ⅲ
実専	教授	森 保之 (64)(高) ＜令和3年度4月＞ 教育学士	実専	教授	森 保之 (64) ＜令和3年度4月＞ 教育学士
		スクールコンプライアンスと教職プロフェッションの開発 教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ(算数) 教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(算数) 教科教育における授業実践の研究 チーム学校と学校組織マネジメント※ OJTとチームマネジメント 学校間連携・地域連携マネジメント 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 授業研究実習 教育連携コラボレーション実習 学校組織マネジメント実習Ⅰ 学校組織マネジメント実習Ⅱ 学校組織マネジメント実習Ⅲ			スクールコンプライアンスと教職プロフェッションの開発 教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ(算数) 教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(算数) 教科教育における授業実践の研究 チーム学校と学校組織マネジメント※ OJTとチームマネジメント 学校間連携・地域連携マネジメント 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 授業研究実習 教育連携コラボレーション実習 学校組織マネジメント実習Ⅰ 学校組織マネジメント実習Ⅱ 学校組織マネジメント実習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
実専	教授	若松 英昭 (53) ＜令和3年度4月＞ 教育学士	実専	教授	若松 英昭 (53) ＜令和3年度4月＞ 教育学士
		現代社会における教育の課題※ カリキュラム・マネジメントの 理論と実践 教科教育実践と指導法の改善 未来をつくる教師の力量※ 教育実践の理論と授業づくり (数学科) 授業実践と評価の研究 I a(数学科) 授業実践と評価の研究 I b(数学科) 教科教育における授業実践の研究 教科教育の理論と実践 I (数学科) 教科教育の理論と実践 II (数学科) 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4 課題演習 II-1 課題演習 II-2 課題演習 II-3 課題演習 II-4 TA実践インターンシップ I TA実践インターンシップ II TA実践インターンシップ III TA実践インターンシップ IV 教育実践コラボレーション実習 異校種実習 教科指導基礎実習 教科指導向上実習 I 教科指導向上実習 II			現代社会における教育の課題※ カリキュラム・マネジメントの 理論と実践 教科教育実践と指導法の改善 未来をつくる教師の力量※ 教育実践の理論と授業づくり (数学科) 授業実践と評価の研究 I a(数学科) <b>授業実践と評価の研究 I b(数学科)</b> 教科教育における授業実践の研究 教科教育の理論と実践 I (数学科) <b>教科教育の理論と実践 II(数学科)</b> <b>教科内容研究と教材開発 II (数学科)</b> 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4 課題演習 II-1 課題演習 II-2 課題演習 II-3 課題演習 II-4 TA実践インターンシップ I TA実践インターンシップ II TA実践インターンシップ III TA実践インターンシップ IV 教育実践コラボレーション実習 異校種実習 教科指導基礎実習 教科指導向上実習 I 教科指導向上実習 II
実専	教授	脇田 哲郎 (64)(高) ＜令和3年度4月＞ 教育学士	実専	教授	脇田 哲郎 (65) ＜令和3年度4月＞ 教育学士
		教科教育実践と指導法の改善 生徒指導の理論と実践 特別活動・総合的な学習の時間 の実践と課題 子供のキャリア発達支援 チーム学校と学校組織マネジメント※ 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4 課題演習 II-1 課題演習 II-2 課題演習 II-3 課題演習 II-4 授業研究実習 特別支援教育実践実習 学校カウンセリング実習A 学校適応アセスメント実習 学校適応支援システム化実習			教科教育実践と指導法の改善 生徒指導の理論と実践 特別活動・総合的な学習の時間 の実践と課題 子供のキャリア発達支援 チーム学校と学校組織マネジメント※ 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4 課題演習 II-1 課題演習 II-2 課題演習 II-3 課題演習 II-4 授業研究実習 特別支援教育実践実習 学校カウンセリング実習A 学校適応アセスメント実習 学校適応支援システム化実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
実専	教授	舩元 俊文 (56) <令和3年度4月> 教育学士			
		自立活動の理論と心のバリアフリーの実践※ 障害のある児童生徒の理解と合理的配慮※ 障害の理論と実践※ 特別支援教育における資源の活用と連携 学級における特別支援教育のケース研究 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4 課題演習 II-1 課題演習 II-2 課題演習 II-3 課題演習 II-4 授業研究実習 特別支援教育実践実習 学校カウンセリング実習B 特別支援教育アセスメント実習 特別支援教育システム化実習			
			実専	教授	牛島 玲 (53) <令和3年度4月> 学士
					自立活動の理論と心のバリアフリーの実践※ 障害のある児童生徒の理解と合理的配慮※ 障害の理論と実践※ 特別支援教育における資源の活用と連携 学級における特別支援教育のケース研究 課題演習 I-1 課題演習 I-2 課題演習 I-3 課題演習 I-4 課題演習 II-1 課題演習 II-2 課題演習 II-3 課題演習 II-4 授業研究実習 特別支援教育実践実習 学校カウンセリング実習B 特別支援教育アセスメント実習 特別支援教育システム化実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
実み	教授	芋生 修一 (63)(高) ＜令和3年度4月＞ 教育学士	実み	教授	芋生 修一 (63) ＜令和3年度4月＞ 教育学士
		現代社会における教育の課題※ 学級経営の実際と分析 未来をつくる教師の力量※ 家庭・地域・学校の連携・協働 の構築※ 教育実践の理論と授業づくり (社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(社会 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(社会 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(社会 科)※ 教科教育における授業実践の研 究 教科教育の理論と実践Ⅰ(社会 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(社 会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(社 会科)※ 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習 異校種実習 教科指導基礎実習 教科指導向上実習Ⅰ 教科指導向上実習Ⅱ			現代社会における教育の課題※ 学級経営の実際と分析 未来をつくる教師の力量※ 家庭・地域・学校の連携・協働 の構築※ 教育実践の理論と授業づくり (社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(社会 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(社会 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(社会 科)※ 教科教育における授業実践の研 究 教科教育の理論と実践Ⅰ(社会 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(社 会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(社 会科)※ 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習 異校種実習 教科指導基礎実習 教科指導向上実習Ⅰ 教科指導向上実習Ⅱ <b>授業研究実習</b>
実み	教授	川島 耕司 (61) ＜令和3年度4月＞ 教育学士	実み	教授	川島 耕司 (61) ＜令和3年度4月＞ 教育学士
		現代社会における教育の課題※ 学級経営のPDCAと学習環境 デザイン 未来をつくる教師の力量※ 教育連携フィールドワーク 教科等における授業実践と評価 の研究Ⅱ(社会)※ 教科等における授業実践と評価 の研究Ⅲ(社会)※ 教科教育における授業実践の研 究 教科教育の理論と実践Ⅱ(社会 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(社 会科)※ 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習			現代社会における教育の課題※ 学級経営のPDCAと学習環境 デザイン 未来をつくる教師の力量※ 教育連携フィールドワーク 教科等における授業実践と評価 の研究Ⅱ(社会)※ 教科等における授業実践と評価 の研究Ⅲ(社会)※ 教科教育における授業実践の研 究 教科教育の理論と実践Ⅱ(社会 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(社 会科)※ 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
実み	教授	主税 保徳 (64)(高) ＜令和3年度4月＞ 教育学士	実み	教授	主税 保徳 (64) ＜令和3年度4月＞ 教育学士
		現代社会における教育の課題※ スクールコンプライアンスと教職 プロフェッションの開発 未来をつくる教師の力量※ 家庭・地域・学校の連携・協働 の構築※ 授業づくりの理論と質的研究の 基礎 教科等における授業実践と評価 の研究Ⅰ(算数) 教科等における授業実践と評価 の研究Ⅱ(算数) 教科教育における授業実践の研 究 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習			現代社会における教育の課題※ スクールコンプライアンスと教職 プロフェッションの開発 未来をつくる教師の力量※ 家庭・地域・学校の連携・協働 の構築※ 授業づくりの理論と質的研究の 基礎 教科等における授業実践と評価 の研究Ⅰ(算数) 教科等における授業実践と評価 の研究Ⅱ(算数) 教科教育における授業実践の研 究 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習
実み	教授	峯田 明子 (61) ＜令和3年度4月＞ 教育学修士	実み	教授	峯田 明子 (61) ＜令和3年度4月＞ 教育学修士
		教育改革の動向と学校経営・学 級経営の課題 カリキュラムマネジメントのP D C A チーム学校と学校組織マネジメ ント※ 地域教育資源の開発とワーク ショップ 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 授業研究実習 教育連携コラボレーション実習 学校組織マネジメント実習Ⅰ 学校組織マネジメント実習Ⅱ 学校組織マネジメント実習Ⅲ			教育改革の動向と学校経営・学 級経営の課題 カリキュラムマネジメントのP D C A チーム学校と学校組織マネジメ ント※ 地域教育資源の開発とワーク ショップ 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 授業研究実習 教育連携コラボレーション実習 学校組織マネジメント実習Ⅰ 学校組織マネジメント実習Ⅱ 学校組織マネジメント実習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
実み	教授	井之上 浩幸 (60) ＜令和3年度4月＞ 文学士	実み	教授	井之上 浩幸 (60) ＜令和3年度4月＞ 文学士
		教育実践の理論と授業づくり (英語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰa(英語科) 授業実践と評価の研究Ⅰb(英語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(英語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(英語科) 授業実践と評価の研究Ⅳ(英語科) 教科教育における授業実践の研究 教科教育の理論と実践Ⅰ(英語科)※ 教科教育の理論と実践Ⅱ(英語科) 教科内容研究と教材開発Ⅰ(英語科) 教科内容研究と教材開発Ⅱ(英語科) 教科内容研究と教材開発Ⅲ(英語科) 教科内容研究と教材開発Ⅳ(英語科) 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習 異校種実習 教科指導基礎実習 教科指導向上実習Ⅰ 教科指導向上実習Ⅱ			教育実践の理論と授業づくり (英語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰa(英語科) 授業実践と評価の研究Ⅰb(英語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(英語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(英語科) 授業実践と評価の研究Ⅳ(英語科) 教科教育における授業実践の研究 教科教育の理論と実践Ⅰ(英語科)※ 教科教育の理論と実践Ⅱ(英語科) 教科内容研究と教材開発Ⅰ(英語科) 教科内容研究と教材開発Ⅱ(英語科) 教科内容研究と教材開発Ⅲ(英語科) 教科内容研究と教材開発Ⅳ(英語科) 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習 異校種実習 教科指導基礎実習 教科指導向上実習Ⅰ 教科指導向上実習Ⅱ 授業研究実習
実み	教授	松崎 治一 (60) ＜令和3年度4月＞ 教育学修士	実み	教授	松崎 治一 (60) ＜令和3年度4月＞ 教育学修士
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(体育) 授業実践と評価の研究Ⅱ(保健体育科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(保健体育科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(保健体育科) 教科教育における授業実践の研究 教科内容研究と教材開発Ⅰ(保健体育科) 教科内容研究と教材開発Ⅱ(保健体育科) 教科内容研究と教材開発Ⅲ(保健体育科) 教科内容研究と教材開発Ⅳ(保健体育科) 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習 異校種実習 教科指導基礎実習 教科指導向上実習Ⅰ 教科指導向上実習Ⅱ			教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(体育) 授業実践と評価の研究Ⅱ(保健体育科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(保健体育科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(保健体育科) 教科教育における授業実践の研究 教科内容研究と教材開発Ⅰ(保健体育科) 教科内容研究と教材開発Ⅱ(保健体育科) 教科内容研究と教材開発Ⅲ(保健体育科) 教科内容研究と教材開発Ⅳ(保健体育科) 課題演習Ⅰ-1 課題演習Ⅰ-2 課題演習Ⅰ-3 課題演習Ⅰ-4 課題演習Ⅱ-1 課題演習Ⅱ-2 課題演習Ⅱ-3 課題演習Ⅱ-4 TA実践インターンシップⅠ TA実践インターンシップⅡ TA実践インターンシップⅢ TA実践インターンシップⅣ 教育実践コラボレーション実習 異校種実習 教科指導基礎実習 教科指導向上実習Ⅰ 教科指導向上実習Ⅱ 授業研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名		
兼任	教授	勝又 隆 (45) ＜令和3年度4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	勝又 隆 (45) ＜令和3年度4月＞ 博士(文学)
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ(国語)※ 教育実践の理論と授業づくり(国語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(国語科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(国語科)※			教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ(国語)※ 教育実践の理論と授業づくり(国語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(国語科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(国語科)※
兼任	教授	河野 智文 (52) ＜令和3年度4月＞ 教育学修士※	兼任	教授	河野 智文 (52) ＜令和3年度4月＞ 教育学修士※
		授業実践と評価の研究Ⅰa(国語科) 教科教育の理論と実践Ⅰ(国語科)			授業実践と評価の研究Ⅰa(国語科) 教科教育の理論と実践Ⅰ(国語科)
兼任	教授	菊池 庸介 (49) ＜令和3年度4月＞ 博士(日本語日本文学)	兼任	教授	菊池 庸介 (50) ＜令和3年度4月＞ 博士(日本語日本文学)
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ(国語)※ 教育実践の理論と授業づくり(国語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(国語科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(国語科)※			教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ(国語)※ 教育実践の理論と授業づくり(国語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(国語科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(国語科)※
兼任	教授	久保田 裕子 (56) ＜令和3年度4月＞ 文学修士※	兼任	教授	久保田 裕子 (57) ＜令和3年度4月＞ 文学修士※
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ(国語)※ 教育実践の理論と授業づくり(国語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(国語科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(国語科)※			教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ(国語)※ 教育実践の理論と授業づくり(国語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(国語科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(国語科)※
兼任	教授	鶴成 久章 (54) ＜令和3年度4月＞ 文学修士※	兼任	教授	鶴成 久章 (54) ＜令和3年度4月＞ 文学修士※
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(国語)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(国語科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(国語科)※			教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(国語)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(国語科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(国語科)※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	山元 悦子 (58) ＜令和3年度4月＞ 教育学修士	兼任	教授	山元 悦子 (58) ＜令和3年度4月＞ 教育学修士
		教育実践の理論と授業づくり (国語科)※ 教科教育の理論と実践Ⅱ(国語科)			教育実践の理論と授業づくり (国語科)※ 教科教育の理論と実践Ⅱ(国語科) 教科教育における授業実践の研究
兼任	准教授	荻野 千砂子 (51) ＜令和3年度4月＞ 博士(文学)	兼任	准教授	荻野 千砂子 (51) ＜令和3年度4月＞ 博士(文学)
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(国語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(国語科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(国語科)※			教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(国語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(国語科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(国語科)※
兼任	准教授	竹元 規人 (41) ＜令和3年度4月＞ 博士(文学)	兼任	准教授	竹元 規人 (41) ＜令和3年度4月＞ 博士(文学)
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ(国語科)※ 教育実践の理論と授業づくり(国語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(国語科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(国語科)※			教科等における授業実践と評価の研究Ⅰ(国語科)※ 教育実践の理論と授業づくり(国語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(国語科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(国語科)※
兼任	准教授	沼尻 利通 (45) ＜令和3年度4月＞ 博士(文学)	兼任	准教授	沼尻 利通 (45) ＜令和3年度4月＞ 博士(文学)
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(国語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(国語科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(国語科)※			教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(国語科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(国語科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(国語科)※
兼任	教授	石丸 哲史 (59) ＜令和3年度4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	石丸 哲史 (59) ＜令和3年度4月＞ 博士(文学)
		授業実践と評価の研究Ⅰa(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(社会科)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(社会科)※			授業実践と評価の研究Ⅰa(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(社会科)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(社会科)※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	豊島 啓司 (60) <令和3年度4月> 修士(教育学)	兼任	教授	豊島 啓司 (60) <令和3年度4月> 修士(教育学)
		教育実践の理論と授業づくり (社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(社会科)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(社会科)※			教育実践の理論と授業づくり (社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(社会科)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(社会科)※
兼任	教授	小川(山口) 亜弥子 (56) <令和3年度4月> 博士(文学)	兼任	教授	小川(山口) 亜弥子 (56) <令和3年度4月> 博士(文学)
		授業実践と評価の研究Ⅰb(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(社会科)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(社会科)※ 教科教育の理論と実践Ⅱ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(社会科)※			授業実践と評価の研究Ⅰb(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(社会科)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(社会科)※ 教科教育の理論と実践Ⅱ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(社会科)※
兼任	教授	小林 知子 (56) <令和3年度4月> 修士(国際関係学)※	兼任	教授	小林 知子 (56) <令和3年度4月> 修士(国際関係学)※
		授業実践と評価の研究Ⅰb(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(社会科)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(社会科)※			授業実践と評価の研究Ⅰb(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(社会科)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(社会科)※
兼任	教授	杉村 伸二 (45) <令和3年度4月> 博士(文学)	兼任	教授	杉村 伸二 (45) <令和3年度4月> 博士(文学)
		授業実践と評価の研究Ⅰb(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(社会科)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(社会科)※ 教科教育の理論と実践Ⅱ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(社会科)※			授業実践と評価の研究Ⅰb(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(社会科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(社会科)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(社会科)※ 教科教育の理論と実践Ⅱ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(社会科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(社会科)※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	谷本 純一 (42) ＜令和3年度4月＞ 博士(経済学)
		授業実践と評価の研究Ⅰb(社会科学)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(社会科学)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(社会科学)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(社会科学)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(社会科学)※
兼任	准教授	久本 貴志 (42) ＜令和3年度4月＞ 修士(経済学)※
		授業実践と評価の研究Ⅰb(社会科学)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(社会科学)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(社会科学)※ 教科教育の理論と実践Ⅱ(社会科学)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(社会科学)※
兼任	教授	岩元 隆 (63)(高) ＜令和3年度4月＞ 理学博士
		授業実践と評価の研究Ⅱ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(数学科)※
兼任	教授	中田 寿夫 (51) ＜令和3年度4月＞ 博士(理学)
		授業実践と評価の研究Ⅱ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(数学科)※
兼任	教授	原 卓哉 (52) ＜令和3年度4月＞ 博士(理学)
		授業実践と評価の研究Ⅱ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(数学科)※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	谷本 純一 (42) ＜令和3年度4月＞ 博士(経済学)
		授業実践と評価の研究Ⅰb(社会科学)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(社会科学)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(社会科学)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(社会科学)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(社会科学)※
兼任	准教授	久本 貴志 (42) ＜令和3年度4月＞ 修士(経済学)※
		授業実践と評価の研究Ⅰb(社会科学)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(社会科学)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(社会科学)※ 教科教育の理論と実践Ⅱ(社会科学)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(社会科学)※
兼任	教授	岩元 隆 (63) ＜令和3年度4月＞ 理学博士
		授業実践と評価の研究Ⅱ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(数学科)※
兼任	教授	中田 寿夫 (51) ＜令和3年度4月＞ 博士(理学)
		授業実践と評価の研究Ⅱ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(数学科)※
兼任	教授	原 卓哉 (52) ＜令和3年度4月＞ 博士(理学)
		授業実践と評価の研究Ⅱ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(数学科)※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤本 光史 (52) ＜令和3年度4月＞ 博士(数理学)
		授業実践と評価の研究Ⅱ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(数学科)※
兼任	准教授	今井 一仁 (43) ＜令和3年度4月＞ 修士(教育学)
		教育実践の理論と授業づくり(数学科) 授業実践と評価の研究Ⅳ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(数学科)※
兼任	准教授	岩田 耕司 (44) ＜令和3年度4月＞ 修士(教育学)※
		授業実践と評価の研究Ⅰa(数学科) 授業実践と評価の研究Ⅱ(数学科)※ 教科教育の理論と実践Ⅱ(数学科) 教科内容研究と教材開発Ⅰ(数学科)※
兼任	准教授	岡崎 亮太 (38) ＜令和3年度4月＞ 博士(理学)
		授業実践と評価の研究Ⅱ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(数学科)※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤本 光史 (52) ＜令和3年度4月＞ 博士(数理学)
		授業実践と評価の研究Ⅱ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(数学科)※
兼任	准教授	今井 一仁 (43) ＜令和3年度4月＞ 修士(教育学)
		教育実践の理論と授業づくり(数学科) 授業実践と評価の研究Ⅳ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(数学科)※
兼任	准教授	岩田 耕司 (44) ＜令和3年度4月＞ 修士(教育学)※
		授業実践と評価の研究Ⅰa(数学科) <del>授業実践と評価の研究Ⅱ(数学科)※</del> <del>教科教育の理論と実践Ⅱ(数学科)※</del> 教科内容研究と教材開発Ⅰ(数学科)※
兼任	准教授	岡崎 亮太 (38) ＜令和3年度4月＞ 博士(理学)
		授業実践と評価の研究Ⅱ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(数学科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(数学科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(数学科)※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	伊藤 克治 (52) <令和3年度4月> 博士(理学)	兼任	教授	伊藤 克治 (52) <令和3年度4月> 博士(理学)
		授業実践と評価の研究Ⅱ(理 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理 科)※			授業実践と評価の研究Ⅱ(理 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理 科)※
		金光 理 (63)(高) <令和3年度4月> 理学博士			金光 理 (63) <令和3年度4月> 理学博士
兼任	教授	金光 理 (63)(高) <令和3年度4月> 理学博士	兼任	教授	金光 理 (63) <令和3年度4月> 理学博士
		授業実践と評価の研究Ⅱ(理 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理 科)※			授業実践と評価の研究Ⅱ(理 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理 科)※
		坂本 憲明 (53) <令和3年度4月> 修士(教育学)			坂本 憲明 (53) <令和3年度4月> 修士(教育学)
兼任	教授	坂本 憲明 (53) <令和3年度4月> 修士(教育学)	兼任	教授	坂本 憲明 (53) <令和3年度4月> 修士(教育学)
		教科等における授業実践と評価 の研究Ⅱ(理科)※ 教科等における授業実践と評価 の研究Ⅲ(理科)※ 教育実践の理論と授業づくり (理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰa(理 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(理 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(理 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理 科)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(理 科)※ 教科教育の理論と実践Ⅱ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理 科)※			教科等における授業実践と評価 の研究Ⅱ(理科)※ 教科等における授業実践と評価 の研究Ⅲ(理科)※ 教育実践の理論と授業づくり (理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰa(理 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(理 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(理 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理 科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理 科)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(理 科)※ 教科教育の理論と実践Ⅱ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理 科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理 科)※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	鈴木 浩文 (56) ＜令和3年度4月＞ 博士(理学)	兼任	教授	鈴木 浩文 (56) ＜令和3年度4月＞ 博士(理学)
		授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※			授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※
兼任	教授	長澤 五十六 (51) ＜令和3年度4月＞ 博士(理学)	兼任	教授	長澤 五十六 (51) ＜令和3年度4月＞ 博士(理学)
		授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※			授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※
兼任	教授	福原 達人 (57) ＜令和3年度4月＞ 博士(理学)	兼任	教授	福原 達人 (57) ＜令和3年度4月＞ 博士(理学)
		授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※			授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※
兼任	教授	松崎 昌之 (61) ＜令和3年度4月＞ 理学博士	兼任	教授	松崎 昌之 (61) ＜令和3年度4月＞ 理学博士
		授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※			授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	三谷 尚 (63)(高) ＜令和3年度4月＞ 理学博士	兼任	教授	三谷 尚 (63) ＜令和3年度4月＞ 理学博士
		授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※			授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※
兼任	教授	宮崎 義信 (56) ＜令和3年度4月＞ 博士(理学)	兼任	教授	宮崎 義信 (56) ＜令和3年度4月＞ 博士(理学)
		授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※			授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※
兼任	教授	森藤 義孝 (56) ＜令和3年度4月＞ 教育学修士	兼任	教授	森藤 義孝 (56) ＜令和3年度4月＞ 教育学修士
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 教育実践の理論と授業づくり(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰa(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(理科)※ 教科教育の理論と実践Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※			教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 教育実践の理論と授業づくり(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰa(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ <b>教科教育における授業実践の研究</b> 教科教育の理論と実践Ⅰ(理科)※ 教科教育の理論と実践Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	山崎 聖司 (46) ＜令和3年度4月＞ 博士(農学)	兼担	教授	山崎 聖司 (47) ＜令和3年度4月＞ 博士(農学)
		授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※			授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※
兼担	准教授	甲斐(小島) 初美 (38) ＜令和3年度4月＞ 博士(教育学)	兼担	准教授	甲斐(小島) 初美 (38) ＜令和3年度4月＞ 博士(教育学)
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 教育実践の理論と授業づくり(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰa(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(理科)※ 教科教育の理論と実践Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※			教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 教育実践の理論と授業づくり(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰa(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅰb(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科教育の理論と実践Ⅰ(理科)※ 教科教育の理論と実践Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※
兼担	准教授	小杉 健太郎 (49) ＜令和3年度4月＞ 博士(理学)	兼担	准教授	小杉 健太郎 (49) ＜令和3年度4月＞ 博士(理学)
		授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※			授業実践と評価の研究Ⅱ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅲ(理科)※ 授業実践と評価の研究Ⅳ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅰ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅱ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅲ(理科)※ 教科内容研究と教材開発Ⅳ(理科)※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	江頭 理江 (59) ＜令和3年度4月＞ 文学修士※
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(英語) 授業実践と評価の研究Ⅰa(英語科) 授業実践と評価の研究Ⅳ(英語科) 教科内容研究と教材開発Ⅰ(英語科) 教科内容研究と教材開発Ⅲ(英語科)
兼担	教授	中島 亨 (54) ＜令和3年度4月＞ 修士(教育学)
		教科内容研究と教材開発Ⅱ(英語科) 教科内容研究と教材開発Ⅳ(英語科)
兼担	教授	宮迫 靖静 (63)(高) ＜令和3年度4月＞ 博士(学校教育学)
		教科教育の理論と実践Ⅱ(英語科)
兼担	教授	吉武 正樹 (49) ＜令和3年度4月＞ Ph. D. in Communication (米国)
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(英語) 授業実践と評価の研究Ⅲ(英語科) 授業実践と評価の研究Ⅳ(英語科) 教科内容研究と教材開発Ⅱ(英語科) 教科内容研究と教材開発Ⅳ(英語科)
兼担	教授	兄井 彰 (56) ＜令和3年度4月＞ 博士(学術), 博士(体育学)
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(体育) 授業実践と評価の研究Ⅰa(保健体育科) 教科教育の理論と実践Ⅰ(保健体育科)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	江頭 理江 (59) ＜令和3年度4月＞ 文学修士※
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(英語) 授業実践と評価の研究Ⅰa(英語科) 授業実践と評価の研究Ⅳ(英語科) 教科内容研究と教材開発Ⅰ(英語科) 教科内容研究と教材開発Ⅲ(英語科)
兼担	教授	中島 亨 (54) ＜令和3年度4月＞ 修士(教育学)
		教科内容研究と教材開発Ⅱ(英語科) 教科内容研究と教材開発Ⅳ(英語科)
兼担	教授	宮迫 靖静 (63) ＜令和3年度4月＞ 博士(学校教育学)
		教科教育の理論と実践Ⅱ(英語科)
兼担	教授	吉武 正樹 (49) ＜令和3年度4月＞ Ph. D. in Communication (米国)
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(英語) 授業実践と評価の研究Ⅲ(英語科) 授業実践と評価の研究Ⅳ(英語科) 教科内容研究と教材開発Ⅱ(英語科) 教科内容研究と教材開発Ⅳ(英語科)
兼担	教授	兄井 彰 (56) ＜令和3年度4月＞ 博士(学術), 博士(体育学)
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅱ(体育) 授業実践と評価の研究Ⅰa(保健体育科) <b>教科教育における授業実践の研究</b> 教科教育の理論と実践Ⅰ(保健体育科)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	市丸 直人 (59) ＜令和3年度4月＞ 博士(体育学)
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(体育) 授業実践と評価の研究Ⅲ(保健体育科) 教科内容研究と教材開発Ⅱ(保健体育科)
兼任	教授	片平 誠人 (48) ＜令和3年度4月＞ 修士(体育学)
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(体育) 授業実践と評価の研究Ⅲ(保健体育科) 教科内容研究と教材開発Ⅱ(保健体育科)
兼任	教授	榊原 浩晃 (58) ＜令和3年度4月＞ 博士(体育科学)
		授業実践と評価の研究Ⅳ(保健体育科) 教科内容研究と教材開発Ⅲ(保健体育科)
兼任	教授	清水 知恵 (55) ＜令和3年度4月＞ 博士(人間環境学)
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(体育) 授業実践と評価の研究Ⅱ(保健体育科) 教科内容研究と教材開発Ⅰ(保健体育科)
兼任	准教授	檜崎 教子 (48) ＜令和3年度4月＞ 修士(体育学)
		授業実践と評価の研究Ⅱ(保健体育科) 教科内容研究と教材開発Ⅰ(保健体育科) 教科内容研究と教材開発Ⅳ(保健体育科)
兼任	准教授	樋口 善之 (42) ＜令和3年度4月＞ 博士(医学)
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(体育) 授業実践と評価の研究Ⅰb(保健体育科) 教科教育の理論と実践Ⅱ(保健体育科)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	市丸 直人 (59) ＜令和3年度4月＞ 博士(体育学)
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(体育) 授業実践と評価の研究Ⅲ(保健体育科) 教科内容研究と教材開発Ⅱ(保健体育科)
兼任	教授	片平 誠人 (48) ＜令和3年度4月＞ 修士(体育学)
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(体育) 授業実践と評価の研究Ⅲ(保健体育科) 教科内容研究と教材開発Ⅱ(保健体育科)
兼任	教授	榊原 浩晃 (58) ＜令和3年度4月＞ 博士(体育科学)
		教科内容研究と教材開発Ⅲ(保健体育科) 授業実践と評価の研究Ⅳ(保健体育科)
兼任	教授	清水 知恵 (58) ＜令和3年度4月＞ 博士(人間環境学)
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(体育) 授業実践と評価の研究Ⅱ(保健体育科) 教科内容研究と教材開発Ⅰ(保健体育科)
兼任	准教授	檜崎 教子 (48) ＜令和3年度4月＞ 修士(体育学)
		授業実践と評価の研究Ⅱ(保健体育科) 教科内容研究と教材開発Ⅰ(保健体育科) 教科内容研究と教材開発Ⅳ(保健体育科)
兼任	准教授	樋口 善之 (42) ＜令和3年度4月＞ 博士(医学)
		教科等における授業実践と評価の研究Ⅲ(体育) 授業実践と評価の研究Ⅰb(保健体育科) 教科教育の理論と実践Ⅱ(保健体育科)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	相澤 宏充 (49) ＜令和3年度4月＞ 博士(教育学)
		障害のある児童生徒の理解と合理的配慮※ 障害の理論と実践※
兼任	教授	一木 薫 (47) ＜令和3年度4月＞ 博士(障害科学)
		自立活動の理論と心のバリアフリーの実践※
兼任	教授	大平 壇 (50) ＜令和3年度4月＞ 博士(教育学)
		障害のある児童生徒の理解と合理的配慮※ 障害の理論と実践※
兼任	教授	見上 昌睦 (53) ＜令和3年度4月＞ 博士(教育学)
		障害のある児童生徒の理解と合理的配慮※ 障害の理論と実践※
兼任	教授	中村 貴志 (59) ＜令和3年度4月＞ 博士(医学)
		障害のある児童生徒の理解と合理的配慮※
兼任	教授	藤金 倫徳 (58) ＜令和3年度4月＞ 教育学修士
		障害の理論と実践※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	相澤 宏充 (49) ＜令和3年度4月＞ 博士(教育学)
		障害のある児童生徒の理解と合理的配慮※ 障害の理論と実践※
兼任	教授	一木 薫 (47) ＜令和3年度4月＞ 博士(障害科学)
		自立活動の理論と心のバリアフリーの実践※
兼任	教授	大平 壇 (50) ＜令和3年度4月＞ 博士(教育学)
		障害のある児童生徒の理解と合理的配慮※ 障害の理論と実践※
兼任	教授	見上 昌睦 (53) ＜令和3年度4月＞ 博士(教育学)
		障害のある児童生徒の理解と合理的配慮※ 障害の理論と実践※
兼任	教授	中村 貴志 (59) ＜令和3年度4月＞ 博士(医学)
		障害のある児童生徒の理解と合理的配慮※
兼任	教授	藤金 倫徳 (58) ＜令和3年度4月＞ 教育学修士
		障害の理論と実践※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	韓 星民 (49) 〈令和3年度4月〉 博士(学術)
		障害の理論と実践※
兼任	准教授	深澤(矢内)美華恵 (40) 〈令和3年度4月〉 博士(障害科学)
		障害の理論と実践※
兼任	講師	熊谷 亮 (32) 〈令和3年度4月〉 博士(教育学)
		障害のある児童生徒の理解と合理的配慮※
兼任	教授	貫名 英之 (56) 〈令和3年度4月〉 博士(医学)
		障害のある児童生徒の理解と合理的配慮※
兼任	教授	中島 義実 (53) 〈令和3年度4月〉 博士(教育学)
		行動連携のための教育臨床心理学
兼任	准教授	松尾 剛 (40) 〈令和3年度4月〉 博士(心理学)
		学校における統計基礎
兼任	准教授	山中(古賀)和佳子 (42) 〈令和3年度4月〉 博士(学術)
		教科教育における授業実践の研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	韓 星民 (49) 〈令和3年度4月〉 博士(学術)
		障害の理論と実践※
兼任	准教授	深澤(矢内)美華恵 (40) 〈令和3年度4月〉 博士(障害科学)
		障害の理論と実践※
兼任	講師	熊谷 亮 (32) 〈令和3年度4月〉 博士(教育学)
		障害のある児童生徒の理解と合理的配慮※
兼任	教授	貫名 英之 (56) 〈令和3年度4月〉 博士(医学)
		障害のある児童生徒の理解と合理的配慮※
兼任	教授	中島 義実 (53) 〈令和3年度4月〉 博士(教育学)
		行動連携のための教育臨床心理学
兼任	准教授	川口 俊明 (40) 〈令和3年度4月〉 博士(人間科学)
		学校における統計基礎
兼任	准教授	山中(古賀)和佳子 (42) 〈令和3年度4月〉 博士(学術)
		教科教育における授業実践の研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	笹原 浩仁 (58) 〈令和3年度4月〉 修士(教育学)	兼任	准教授	笹原 浩仁 (58) 〈令和3年度4月〉 修士(教育学)
		教科教育における授業実践の研究			教科教育における授業実践の研究
兼任	教授	有川 誠 (61) 〈令和3年度4月〉 博士(教育学)	兼任	教授	有川 誠 (61) 〈令和3年度4月〉 博士(教育学)
		教科教育における授業実践の研究			教科教育における授業実践の研究
兼任	教授	貴志 倫子 (47) 〈令和3年度4月〉 博士(教育学)	兼任	教授	貴志 倫子 (47) 〈令和3年度4月〉 博士(教育学)
		教科教育における授業実践の研究			教科教育における授業実践の研究
兼任	教授	浦田 洋 (63) 〈令和3年度4月〉 博士(教育学)	兼任	教授	浦田 洋 (63) 〈令和3年度4月〉 博士(教育学)
		非行臨床と司法の基礎			非行臨床と司法の基礎

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として)
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒
  - ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してく
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

**【令和3年度】**

- ・兼安章子講師が令和3年4月1日付けで准教授に昇任。
- ・有元康一准教授を令和3年4月1日付けで専任教員として新規採用。
- ・有元康一准教授の採用により、学内組織調整で清水紀宏教授を専任教員（専他）から兼任教員へ変更。
- ・福岡県教育委員会から交流人事の変更により、舛元俊文教授が未就任。
- ・福岡県教育委員会との交流人事により、舛元俊文教授が変更となり、牛島玲教授を採用。
- ・勝又隆教授が令和3年3月31日付けで自己都合（他大学への採用）による退職のため兼任から兼任教員へ変更。
- ・松尾剛准教授が令和3年3月31日付けで自己都合（他大学への採用）による退職のため授業担当を辞退。
- ・学内調整により、松尾剛准教授の後任として、川口俊明准教授を兼任教員として補充。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数
26	15	11
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【教職大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
24	1	1	0	26	0	23	3	0	0	26	0
(23)	(3)	(0)	(0)	(26)	(0)						
研究者教員数	実務家教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究者教員数	実務家教員数	講義のみ担当の教員数	/		
15	11	0				15	11	0			
(15)	(11)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
23	3	0	0	26	0	23	3	0	0	26	0
[Δ1]	[+2]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[Δ1]	[+2]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]
研究者教員数	実務家教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究者教員数	実務家教員数	講義のみ担当の教員数	/		
15	11	0				15	11	0			
[0]	[0]	[0]				[0]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
63	7	7
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{26}{26} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{7}{26} = \boxed{26.92} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
								選択	必修	自由
1	教授	清水 紀宏	R3.3	選択	授業実践と評価の研究Ⅰb(数学科)	①	R3.3学内人事により、専任教員を1名新規採用することができたため、学内の人員配置の調整で兼担として措置することになった(3)			
				選択	授業実践と評価の研究Ⅱ(数学科)	①				
				選択	教科教育の理論と実践Ⅰ(数学科)	①				
				選択	教科内容研究と教材開発Ⅱ(数学科)	①				
2	教授	舛元 俊文	R3.3	必修	自己啓蒙の理論と心のバリアフリーの研修	①		R3.3福岡県教育委員会との人事交流により、当該教員が就任する予定であったが、県教育委員会の都合上(本人は出向で福岡県教育委員会の人事管理主事として勤務していたが、本人の在籍町の教育長からの要請で急遽在籍町の学校現場に校長として戻ることになったため)、当該教員の人事交流が不可能となり、同様の経歴を持つ他の教諭を人事交流として措置してもらうことになった。(3)		
				必修	障害のある児童生徒の理解と合理的配慮	①				
				選択	障害の理論と実践	①				
				選択	特別支援教育における障害の理解と連携	①				
				選択	学級における特別支援教育のケース研究	①				
				選択	課題演習Ⅰ-1	①				
				選択	課題演習Ⅰ-2	①				
				選択	課題演習Ⅰ-3	①				
				選択	課題演習Ⅰ-4	①				
				選択	課題演習Ⅱ-1	①				
				選択	課題演習Ⅱ-2	①				
				選択	課題演習Ⅱ-3	①				
				選択	課題演習Ⅱ-4	①				
				選択	授業研究実習	①				
				選択	特別支援教育実践実習	①				
				選択	学校カウンセリング実習B	①				
選択	特別支援教育アセスメント実習	①								
選択	特別支援教育システム化実習	①								
合計(D)					後任補充状況の集計(E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)			
2	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	20	科目	選択	20	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	22	科目	計	22	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計(F)					後任補充状況の集計(G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)					後任補充状況の集計(E)+(G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)
2	人	必修	2	科目	必修	2	科目
		選択	20	科目	選択	20	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	22	科目	計	22	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{24} = 8.33 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

2 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員辞任等については、開設前に調整を行っており、学生の履修等への影響は無いため、変更に関する学生への周知は行っていない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時  (令和2年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	報告結果を受け、教員組織編成を整えるべく、設置計画時からの人員配置を変更して、令和3年度4月1日付けで、新規教員(准教授)1名を採用した。	平成30年に「教職大学院の教職員人事計画一覧表」を作成し、毎年更新をしてきている。研究者教員については、令和2年度新規教員(研究者)1名の採用ができた。令和3年度についても引き続き、新規教員(研究者)1名の採用人事の準備を行っている。実務家教員についても人事計画に沿って準備を進めている。教育委員会との交流人事は原則3年、特任教授は65才までという条件があり、人事サイクルも早いために教育委員会等との連携共有は欠かせない。毎年、2、3回ほど人事関係についての会議を行い、人事計画表に沿った形での実現を目指していきたい。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成〇〇年)	・〇〇学部〇〇学科において、～を是正すること。	是正意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成△△年)	・同一設置者が設置する既設学部等(◆◆学科)の～改善に努めること。	改善意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成□□年)	・大学設置基準に抵触するため、改めること。(△△学部△△学科)	指摘事項 (法令違反)	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (令和□□年)	・～については是正すること。	指摘事項 (是正)	履行中
設置計画履行状況 調 査 時 (令和□□年)	・〇〇大学の既設学部等(◆◆学科、●●学科)の～改善に努めること。	指摘事項 (改善)	履行中

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘**を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <教育学研究科教職実践専攻>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設・設備 ・院生室 4 室 (219㎡)  ・講義室 8 室 (460㎡)	①新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、院生室を4部屋から5部屋に変更した。5室(268㎡)  講義室の1部屋を院生室に変更し、別途少人数用の部屋2部屋を設置した。9室(401㎡)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>教育内容等の改善のための組織的な研修については、全学的な委員会である「福岡教育大学ファカルティ・ディベロップメント委員会」が中心となり、『授業評価部会』、『広報・研修部会』、『教材作成支援部会』、『大学院部会』を設置して、全学教職員に対して、FDセミナー、教員相互の授業評価、全学公開授業、授業改善支援等の事業を実施し、教育内容の改善についての取り組みを行っている。</p> <p>教職大学院においても、従来から専攻内に「教職実践専攻ファカルティ・ディベロップメント委員会」、「自己点検評価委員会」を設置し、大学の関連の委員会と連携をとりながら、独自の取り組みを行っている。ここでは、「教職実践専攻ファカルティ・ディベロップメント委員会」の取り組みについて記載する。</p> <p>○(別添資料1)福岡教育大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程            ○(別添資料2)福岡教育大学大学院教育学研究科教職実践専攻会議規程</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>教職実践専攻ファカルティ・ディベロップメント委員会:毎月1回程度開催</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1) 授業改善の調査及び研究活動に関する事項            (2) FDの調査及び研究活動に関する事項            (3) FD推進のための方策の策定に関する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職大学院授業公開</li> <li>・学生による授業評価</li> <li>・修了生の意見等の反映</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職大学院授業公開            毎年、前期と後期の計2回、教職大学院と全学FD委員会との共催による学内授業公開を実施する。教職大学院に配置換え又は兼任になる教員の継続的な力量向上の方策としても活用する。</li> <li>・学生による授業評価            授業評価アンケートは、前期と後期の計2回、専攻内委員会が調査項目を整理統合して「授業評価シート」を用いて実施、検証をする。また、実習科目に関しては、各コースで行っているすべての実習において、学生に対して、事前・事後アンケート調査を実施し次年度に向けて改善に役立てる。</li> </ul>
--

・修了生の意見等の反映

毎年修了後3年以内の修了生に対して、カリキュラム改善に関する追跡調査及び自己点検評価に関するアンケート調査を実施している。また、修了2年目の修了生については、所属校等の管理職に対しても、修了生の教職大学院の目的に照らした学習の成果や効果について、アンケート調査を実施し、数名程度、ヒアリングも行っている。それらカリキュラムの改善に反映させる。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・教職大学院授業公開
- ・学生による授業評価
- ・修了生の意見等の反映

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

○教職大学院授業公開

毎年、前期と後期の計2回、教職大学院と全学FD委員会との共催による学内授業公開を実施する。教職大学院に配置換え又は兼任になる教員の継続的な力量向上の方策としても活用する。

対象は、学内教職員、本学学部生の他、本学教職大学院入学希望者等学外者にも公開している。

○学生による授業評価

授業開講期間の中間と終了時期に同一の評価項目で行うことで、中間時期での評価結果を踏まえた改善事項を、終了時期の評価で検証するよう取り組み、それを教職実践専攻会議で報告し、各科目の課題及び改善方策を各教員が報告し、他教員からの意見を踏まえて次年度の方策を各教員が責任を持って検討することになっている。

○修了生の意見等の反映

毎年修了後3年以内の修了生に対して、カリキュラム改善に関する追跡調査及び自己点検評価に関するアンケート調査を実施している。また、修了2年目の修了生については、所属校等の管理職に対しても、修了生の教職大学院の目的に照らした学習の成果や効果について、アンケート調査を実施し、数名程度、ヒアリングも行っている。それらカリキュラムの改善に反映させる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施の有無：実施している。実施時期：年4回 前期・後期（中間時・終了時）

b 教員や学生への公開状況、方法等

教職実践専攻会議で報告、検討している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

#### ① 体制

##### a 委員会の設置状況

令和2年6月に提出した委員名簿のうち8名が人事異動等で交代しているため、別途名簿を参照願います。

##### b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

令和2年度実績：2回

##### c 委員会の審議事項等

(1)教育委員会等との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項

(2)教育委員会等との連携による授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項

(3)その他教職大学院の教育研究活動及び連携事業に関して必要な事項

##### d その他

#### ② 審議状況

##### a 審議した内容

- ・福岡教育大学大学院改革について
- ・教職大学院運営方針及び各コース別教育活動基本方針について
- ・「福岡教育大学教職大学院自己点検評価報告書」について

##### b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

- ・改組後であるため、今後教育課程の見直しについて検討を行う予定である。

##### c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

- ・改組後であるため、今後教育課程の反映について検討を行う予定である。

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本専攻は、令和3年4月改組のため、目的の達成状況について現時点で評価することは難しい。概ね設置計画の趣旨に基づき順調に実施している。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

- ・令和4年4月1日 公表予定

###### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

##### ③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和3年に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で準備中
- ・令和4年に評価機関（一般財団法人教員養成評価機構）の評価を受けるべく、学内で準備中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。